

分社

代取会会報

《発行責任者》
 株式会社分社経営研究所
 代表取締役社長：酒井 邦恭
 《編集責任者》
 分社グループ代取会
 〒104-0061
 東京都中央区銀座6丁目12番1号
 TEL 03-3574-9542
 会長：佐々木弘人
 副会長：竹田 誠
 発行担当者：吉田寿子

グループ内に新しい波を起したい



沖電気は二十五万円、NECはそれ以上と見積つたものを、コスト削減の為、海外へ部品を発注し、その品質管理もし、その他多くの困難を乗り越えて約六万円という価格を実現しました。これは価格破壊で

世の中が変わります。必然性で、新しい時代の始まりです。革命と言っても良い。現在テレビで宣伝している「テレビ電話」は、TNTの企画をNTTが採用して下さり、NTTの指導を受けながら、協力し、幸大ハイテックとTNTが大変な努力を重ね、ようやく出来上がったものです。NTTからはNECを親として下請となるようにと要請もありましたが、固辞しました。私は、うちのグループは仕事がなく困っているのだから、うちでやってくれたら有難いと思ったのです。TNTは私の指示を受け、グループの仕事を増やす為にうちの中で始めることにしました。

株式会社分社経営研究所

代表取締役社長 酒井 邦恭

『テレビ電話会議システムや オンデマンド機器の積極的な活用』

TNTは引き続き、多元・多重的に活用しようとテレビ電話会議システムを開発しました。私はこれを聞いて、「テレビ電話会議システムをグループ内で使えるかやってみろ」と指示し、グループ独自の会議システムを年末までに完成させ、年初にはそのシステムを使って年頭の挨拶をするつもりでありました。

既に採用の決まっていた関西の金融機関がどうしても年内に設置して欲しいと飛び込んできたので、TNTの社員三名とライターの社員一名が年末三十一日まで関西で活躍し、これを完成させました。（先方には大変気に入って頂き、代金はすぐにお支払い頂きました。）

クリスマス（十二月二十四日）には、全三十五店舗でテレビ電話会議システムを使って全社員が早朝会議を行い、このシステムを使っていく方針を聞き、五千億円預金達成の記念抽選会でエルメスのバッグを差し上げる「ありがとう抽選会」を、お客様は各支店のテレビ電話会議システムでご覧になったそうです。このシステムの導入により、この会社の年間節約額は、最低五千万円以上と言われています。

この金融機関では毎日時間を決めて、テレビ電話会議が行われており、現在は持ち運び用のテレビ電話会議電話を三台受注してTNTで製造中であり、現在は遅れていた分社グループ内のテレビ電話会議システムの試験を十二月十日より各社別に次々に実施、光ケーブルが施設されていない所でもADSLで使えると確信しました。

分社グループは他の企業と違い、これを利用するしないは各社の自由でいつでも使えるかどうかの実験を行っただけであるから、「うちは関係ない、使う必要がない」という会社は資料を送り返して下さい。

テレビ電話会議システムに続いてオンデマンド（画像配信機材）も成功しており、先の金融機関では、延べ五七〇〇人が研修ビデオを視聴しています。一タイトルに五十人が会議システムや各自のパソコンでアクセスすることが出来ます。

これを使って私は皆さんに直接話し掛け、質問を受け、答えるつもりです。更に私が話すこと、或いは、これは良いと思うビデオを、或いは私が今までの四十五年間に書き溜めた酒井語録も文字で皆に見てもらえるようになります。

社長室のドアを開け放しているとか、社長以下部長も同じ部屋でとか、部下の心を開くために大企業も必至に苦勞しています。うちがそういうやり方はしないと下さしてもOKです。分社制では自由です。私は必要と考えているので早くやってくれとも言っし、セールスもやります。しかし否もOKです。

発想の時代、センスの時代です。私はこういう時代だからこそ人も会社も共に伸ばしたいと考えています。私はこうい時代だからこそ人も会社も共にオンデマンドですべての人に私の考え方を伝え、質問を聞きまます。

電話で顔が映って、「やあ、さん！元氣そだね」と言いたいのです。

テレビ会議システムはトライアームで作っています。税込で二千六百二十五万円です。経営指導料の中から半分ずつでも分割で払ってもらいます。

後はオンデマンドで更に千五百万円位の出費があります、これで終了でしょう。他のどの製品より優秀な品質で価格は遥かに安いと思っております。

私はプロ野球球団のように人を扱い、トレード出来るようにします。そして分社を創造したいと思っています。新しい人でもグループ内にいた人でも使える人は活用します。

変革期のトップは信長的か秀吉的でないといけません。今まで縦割りだった組織に横櫛を加えたいのです。堅実に仕事をこなし地道に努力する人も必要ですが、トップは乱暴者、人の言うことを聞かないような人でないとダメだと思っています。

ネガティブではこの波は乗り越えられません。ポジティブで行きましょう。もし私の言うことと社長の言うことが違ったら、社長の言うことを聞いて下さい。分社制とはそういうことです。

株主の権力は、公開していない分社グループ内では一社一票です。公開したら通常の常識通りです。

ソニーの退潮、NECの退潮は人の扱い方が問題だと思っています。分社して株式を公開して会社を吸収して、今までの社長が部長にされたので、それを見た社員がやる気が無くなっているのです。もう少し経てば忘れて元気に戻るでしょう。トヨタ自動車でさえ中国ではもたつて思うように行かず悩んでいます。

松下興産（松下幸之助氏の財産管理会社）は売却するようです。松下の名は無くなつて、パナソニックに統一されます。

人の心を重要視しないと人が辞めるだけでなく、皆やる気が無くなつてしまいます。社員は皆見ているのです。人はいても働かないブレーキがかかってしまうのです。堤さんの一家も終わり。武富士も終わり。名の通った会社が沢山終わりになりつつあります。

上場する証券取引所は東京でなくても大阪でも名古屋でも香港でも良いのです。何年かのうちには取引所そのものがM&Aになりそうです。

歴史物を見るなら戦国時代のものを、本でも映画でも見て下さい。これから世界中が戦国時代になるからです。徳川時代のもはダメです。（徳川家の平穩長久だけを願った時代ですから。）

幕末から維新ならOKです。維新は下級武士や郷土が創りました。家柄が良かったなんて言う人は役に立たなかつたのです。私は学校運が良かった人でない人が好きです。私は明治維新はあの藩には誰がいるから彼と話そうという事で五十人位の人がやつたと思つています。分社経営でもそういうことを期待しているのです。

サムスン電子副会長長伊鐘龍さんは、勝ち抜く鍵は常に危機感を維持し、スピードを重視する経営しかない。このままでは日本は世界の大国から脱落する」と言っています。

私はテレビ電話をNTTが採用して下さる、テレビ電話会議システムがうまく動いて大好評を頂く、こんな事は奇蹟だと思います。

酒井彌吉郎君と多摩墓地や目黒福興院で発電機を回してテレビ電話を墓石の前で動かして報告したり、奈良の大神社他に何回も参詣しましたが、どう考えてもこんな事は考えられない結果です。現在三種類以上の開発が進んでおりますが、尚一層の神仏の御加護を祈るばかりです。（二〇〇五年一月二十八日 新年代取会にて）

『年始挨拶』

代取会会長 佐々木弘人
(株式会社大昌電子)



明けましておめでとうございませう。新年を迎え、分社グループ各社に於いては、益々協力し合い、更なる事業の発展や社会に貢献することを願っております。

昨年十二月、突然関山オーナーが病魔に倒れ、帰らぬ人となりました。日頃から経営方針・戦略等の相談にのつていた大指導者や亡くした現経営幹部、社員にとりましては、大変なショックでありました。現在、市場は踊り場というより不況と見るのが現実感であり、大変厳しい状況であります。

今こそ、関山オーナーが常に生前より仰つていた「顧客第一主義」を各社が実践していかなければなりません。

関山オーナーには、天国からグループ各社を見守っていただきたいと思っております。

分社理念のもと、グループ一丸となつて、酒井オーナーに心配を掛けない強い会社作りを目指し、攻めの戦略で中期倍増計画を成功させたいと考えております。今年がグループ各社にとりまして良い年であることを祈ります。

代取会（一月）業績報告

一月二十八日（金）、港区の東京プリンスホテルにおいて代取会（一月）が開催されました。まず始めに、分社グループのホームページについて大陽工業株式会社/尾崎彰一チーフマネージャーより説明がありました。引き続き、左記の四社の代表取締役社長が今期状況と五カ年計画の発表をされました。

- ・ インテグラン株式会社
- ・ 丸忠デジタル株式会社
- ・ 株式会社幸大ハイテック
- ・ 良友建設株式会社

(発表順)

代取会終了後、酒井社長（大陽工業株式会社）の乾杯のご発声によって新年会が行われました。分社グループの更なる発展と、一刻も早い経済の立ち直りを期待してお互いの親睦を深めました。

新年会を行いました

